

長野県北信地区 主要ライブハウス・クラブ施設 新型コロナウイルス感染拡大予防ガイドライン

2020年5月25日

INDIA live the SKY
club NEVER LAND
the Venue
DJ BAR ROOTS
長野 CLUB JUNK BOX
長野ライブハウスJ
ネオンホール
music&bar FAME

1. はじめに

新型コロナウイルス感染拡大が続く中、エンターテインメント業界は未曾有の窮地に立たされております。音楽文化は人々の心を豊にすると共に、多くの人に夢と希望と活力を与えてきました。そしてアーティスト、ライブハウス、クラブ、イベント制作会社等、その文化の発信や発展に携わる多くの者が、そこに喜びと感動と生きがいを感じ、日々各業務に従事しております。

不要不急が騒がれる中、捉えようによっては不要なものと思う方もいらっしゃると思います。しかしながら、実際にはその文化の中で生きている人、それを中心に生活をしている人、心の支えになっている人、様々な人がいるのも事実です。

「音楽」に対する評価や価値が全て目に見えるものではなく、必ずしもそこに生産性が生まれるわけでもありません。関わる全ての人の心の中に、そして周りの人々と共有し分かち合う喜びの中に、その存在意義があります。だからこそ「新しい生活様式」が求められているとはいえ、その在り方を180度変えることは到底不可能であり、独自のガイドラインを作成し、その中で今後のスタイルを模索し確立していかなければなりません。

今回、長野県北信地区に所在する主要ライブハウス・クラブ施設8店舗が話し合いをし、今後に向けての指針を協議、感染予防対策をまとめたガイドラインを作成しました。営業再開後、各施設がこれを有効に活用し、少しでも来場者やアーティストの安全の確保に努め、充実したサービスの提供が出来ることを願います。

2. 本ガイドラインについて

私どもは、今後もこの文化を守り続け、発展させ、新しい世代に受け継いでいく役割と責務があります。今般の新型コロナウイルス感染拡大をうけ、どのようにその役割や責務を果たしていけばいいのか、何よりも関わる者の安全と安心を第一に考えた上で、「新型コロナウイルス感染症対策の基本的対処方針」（令和2年3月28日（令和2年5月14日変更））「新型コロナウイルス感染症対策の状況分析・提言」（令和2年5月14日）を踏まえ、賛同する長野県北信地区のライブハウス・クラブ施設による共通の感染拡大予防の取り組みをまとめました。

また、各会場施設の性格や規模、運営形態、各イベント自体の内容が多種にわたり、全ての項目が必須条件ではございませんが、感染予防のための基本的ガイドラインとし、感染予防対策の参考に供する為に作成するものです。

なお、本ガイドラインは令和2年6月30日まで有効、令和2年7月1日以降については今後の感染状況を踏まえ、改めて協議する場を設けます。

①施設の対策

- ・最大収容キャパ数を従来の1/2以下に設定する
- ・換気の悪い密閉空間を避けるため、定期的に入口ドアを開放するなど適切な換気を行う
- ・空気の循環効率を上げるため、サーキュレーターやエアコンなどを使用する
- ・飛沫感染予防のため、ステージ上演奏者から客席の間隔を最低1～2メートル確保する
- ・不特定多数が接触する箇所（手摺り、ドアノブ、トイレ、椅子、テーブル等）は開場前、終演後の消毒を徹底する
- ・使用したボーカルマイクはその都度交換もしくは消毒を行う
- ・開場前の整列の際は、前後の距離を十分確保する

②来場者への対策

- ・会場内にハンドソープや消毒用スプレーを設置し、入退場時には必ず手指の洗浄と消毒を行ってもらう
- ・ウイルス拡散を避けるためハンドドライヤーの使用を禁止し、ペーパータオルなどで対応する
- ・入場時にはマスク着用を義務付ける
- ・入場時に検温を行い、37.5℃以上の発熱がある場合は入場をお断りする
- ・入場時に連絡先（氏名、住所、電話番号）を記入していただき、感染が疑われる者が出た際には、保健所等の公的機関からの要請に協力し、必要な情報提供を行う
- ・取得した個人情報の取り扱いには注意し一定期間保管する
- ・取得した個人情報は本対策以外では利用しない
- ・入場時にIDチェックを行い、長野県外の方の入場をご遠慮いただく
- ・下記症状等、体調の優れない方や基礎疾患（持病）をお持ちの方の入場をご遠慮いただく
咳、呼吸困難、全身倦怠感、咽頭痛、鼻水・鼻閉、味覚・嗅覚障害、目の痛みや結膜の充血、頭痛、関節・筋肉痛、下痢、嘔気・嘔吐

- ・飛沫感染予防のため、ドリンクカウンターに透明ビニールカーテンやアクリル板などの仕切りを設け遮蔽する
- ・ドリンク類の提供は使い捨てコップを使用、もしくはグラスの場合は使用毎に洗浄を行う
- ・ドリンクチケットは使い捨てのもの、もしくは使用毎に消毒を行う
- ・金銭の受け渡しはキャッシュトレイを使用する
- ・以上の対策を会場の内外に表示し、来場者に対し周知・広報する

③会場スタッフへの対策

- ・出勤前に検温を行い、 37.5°C 以上の発熱がある場合は勤務を控え、自宅待機等の対応を行い、状況により速やかに医療機関および保健所へ連絡、指示を受ける
- ・下記症状等、体調が優れない場合は速やかに勤務を終了し、帰宅待機等の対応を行い、状況により速やかに医療機関および保健所へ連絡、指示を受ける
咳、呼吸困難、全身倦怠感、咽頭痛、鼻水・鼻閉、味覚・嗅覚障害、目の痛みや結膜の充血、頭痛、関節・筋肉痛、下痢、嘔気・嘔吐
- ・出勤時や勤務中、退勤時は出来る限りこまめに手洗い、消毒を行う
- ・マスクの着用を徹底する